

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	第5回寒川町地域自立支援協議会
開催日時	平成26年3月27日（木）13:00～15:00
開催場所	東分庁舎第2会議室
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員：大西会長、森副会長、伊藤(靖)委員、長田委員、小川原委員、石澤委員、牧野委員、川本委員、梅澤委員、中村委員、伊藤(久)委員、江島委員 ・ 事務局：(町)小島福祉課長、中澤主査、筒井主任主事、岡野主事 (生活相談室すまいる)安田、矢澤、野口、宮内（途中より） ・ 欠席者：瀧本委員、小澤委員 ・ 承認委員：石澤委員、川本委員 ・ 傍聴者1名
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. (仮称)寒川町障がい者福祉計画策定に向けたアンケートについて 4. 地域の課題 ほっとすぺーすについて 福祉マップについて 5. 今後の自立支援協議会について 6. その他 (1) 委員各位より振り返り (2) その他 7. 閉会
決定事項	
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会のあいさつ 2. 会長あいさつ 3. (仮称)寒川町障がい者福祉計画策定に向けたアンケートについて アンケートについて、中間報告

事務局：前回まで協議頂いたアンケートについて、中間報告を行いたい。
アンケートについては、身体障害者手帳1378人、療育手帳287名、精神障害者保健福祉手帳298名、合わせて1963名の方に、2月21日に発送している。昨日までの返送数は、1006通である。今の段階で51%の回収率である。
集計結果は次回来年度7月頃の第1回協議会で発表させて頂きたい。

4. 地域の課題

ほっとすぺーすについて

事務局：当日配布資料の2013年度ほっとすぺーす利用報告書を参照して頂きたい。基本事業、追加事業の項目ごとに、どのくらいの利用があったか、延べ人数を記載している。また、昨年10月に、ほっとすぺーすの登録を各事業所から福祉課にして頂いている。その時に登録された事業内容を登録の有無欄に、○で示している。そうすることで、各事業所で実際に利用された事業と登録状況がどうなっているか、比較できるようにした。

相談のあった事業所については、それぞれの事業項目の特記を備考欄に記載した。

各事業所の状況について、説明する。

まず社会福祉協議会については、基本事業の①短時間休憩（概ね15分）が44件、追加事業の①休憩・食事場所の提供が3件、計47件となっている。①については、備考にも記載があるが、既に関わっている方でちょっと立ち寄られた方の件数を入れさせて頂いた。①についても、既に関わっている精神障がいの方が突発的に来所され、対応された件数を入れさせて頂いた。

次に友達について、基本事業の①短時間休憩が6件、③近隣の案内が1件、追加事業の②相談・傾聴（概ね30分）が9件、③臨時の事業所利用3件、計19件となっている。①については、ふらっと来所されたり、お茶を飲みに来られたり、薬を飲むので水か欲しいと立ち寄られる方がいた。③臨時の事業所利用に入れさせて頂いた内容について、事業所の利用というよりは、仕事の様子を見に来られたり、仕事の依頼等で来られた方を件数に入れた。

福祉活動センター（つくしの家）については、基本事業の②トイレ、お手洗いの提供が16件、②相談・傾聴（概ね30分）が1件、計17件となっている。これは、精神障がいの方が来所され、精神面の話をされ、対応した件数になっている。

生活相談室すまいる、基本事業の①短時間休憩が3件、②トイレ、お手洗いの提供が2件、③近隣の案内が1件、追加事業も①休憩・食事場所の提供が155件、計161件となっている。以前から立ち寄られていた方の件数を件数としてあげている。①の短時間休憩については、ヘルパーの利用の時に休憩で寄られた方の件数を入れている。②トイレ、お手洗いの提供は、ヘルパーを利用時、利用者さんがトイレを利用された件数。追加事業の①の休憩・食事場所の提供については、既に関わっている方で、毎日通所先から帰って来られた時に、すまいるに寄られる方がいるので、その方の件数をあげている。また、精神障がいの方で相談を聴いた後で、家に一人であると不安になってしまうので、ここで休みたいと言われた方も件数にあげている。

光友会事業サービスサポートセンター、ハートピア湘南あすなろ、ほっとカフェつくし、スタジオトネリコについては、ほっとすぺーすの利用は今のところない状況である。

全体的にほっとすぺーすと知って利用されたというよりは、たまたま利用されていることが多く、周知が足りていないと感じている。月ごとの利用状況を見ても、徐々に件数があがっているという状況でもない。すまいるでも、外部の会議や相談に来られた方に、もっと周知していけたらと思っている。引き続き、委員の皆様にも、周知をして頂けたらと思っている。

会 長：ほっとすぺーすの報告があったが、何かご意見を頂ければと思う。

委 員：社会協社協議会でも追加事業の②相談・傾聴(概ね30分)に登録して、取り組んで欲しい。事業の登録がされていない。

委 員：社協では、今まで利用している方が、ほっとすぺーすを利用されているのが現状である。新しい方が来所されることはまだない。社協の事業の中でも、相談業務があり、障がい者の方に関わっている。その部分と、ほっとすぺーすの相談の区分けが難しいが、②相談・傾聴について登録を考えていく。

会 長：友達やつくしの家で登録をしていない項目でも、受けている項目もあるがどうか。

委 員：②相談・傾聴に関して登録はしていないが、来られた方の様子で、話を聞いた方が良かったので、対応した。それを1件あげさせてもらった。

委 員：そこから先の話を伺いたい。そこからすまいるなど相談につないだのか。

委 員：内容が社会福祉協議会についての相談でもあったので、社協に確認

しその後相談につなぐというような内容ではなかったもので、特に動いていない。

会 長：他に質問があったらお願いしたい。

委 員：実人数はどうなっているのか。

事務局：利用に際し、登録という形を取っていないので、実人数の集計は行っていない。

委 員：受付名簿がある訳ではないので、人数が把握できないということなのか。例えば、すまいるは毎日通っている人をカウントしているが、概ね何名くらいになるか。

事務局：追加事業の①休憩・食事場所の提供の155件については、毎日通っている方もカウントしているので、概ね実人数は3、4名くらいになる。

事務局：来年度に向けての動きとして、事業所の登録に関して、町内の事業所が今年度2ヶ所増えている。事業所名は、茶房留2、Say-Yaの就労系の事業所になる。この2事業所には、ほっとすぺーすの説明をしており、前向きに検討して頂けるとの回答を頂いている。

広報については、4月の広報に掲載を検討していたが、担当課から最初の掲載から1年あけて欲しいと言われ、今回は掲載できなかった。事業所の追加等はホームページにあげさせて頂く。

福祉マップについて

事務局：地域の課題の福祉マップについて説明させて頂く。お手元には、白黒の両面刷りの福祉マップになっているが、カラー版については順番に回して見て頂けたらと思う。前回協議会で頂いたご意見の中で、七尾市の福祉マップを参考に、公衆電話、トイレ等入れて欲しいというご意見があったので、それらのご意見を反映させた福祉マップを作成した。福祉計画の中であげられている、避難マップとしても利用できるように、広域避難場所も載せている。

トイレについては4種類、一般のトイレ、オストメイト対応トイレ、障がい者のトイレ、みんなのトイレという表示にしている。みんなのトイレは多目的トイレのことである。公衆電話については、NTTのホームページで調べたものを反映させている。公衆電話のマークやほっとすぺーすのマークについてもわかるように載せている。この福祉マップについて、ご検討頂けたらと思う。広報の方法についてもお話しして頂けたらと思う。

会 長：福祉マップについて、公衆電話が撤去されたり、事業所が移転したりなどがあるので、マップを作成する時に作成日を入れるのはどうか。

変更があった場合、更新していくことができる。福祉マップについてご意見があればお願いしたい。

委員：とても良いマップだと思う。大きさはA4サイズになるのか。これだと小さいと思う。

事務局：福祉マップの活用について、前回持ち歩きやすいものがあれば良いというご意見があった。掲示用に大きいサイズが良い、折った方が良いなど、どのようなものがあると便利で良いかご意見を頂きたい。

委員：持ち歩くならこのA4サイズが良いが、貼っておきたいというもある。

事務局：町のホームページからダウンロードできるようにする予定で考えている。自宅用については、それを活用して頂きたい。

会長：みんなのトイレと車椅子用のトイレなど色々な種類のトイレがある。みんなのトイレは多目的のトイレだが、車椅子用トイレで統一したらどうかと思うが、変えなくても良いか。

委員：寒川町事業所連絡会の委員から、マップを見て、実際にそこまでたどりつけるものが欲しいという意見があった。可能であれば、建物の写真や近くにある目印があると良いのではないか。

事務局：情報量がかなり多くなるので、施設に特化した案内にするなどはどうか。

委員：たとえば、事業所連絡会で、今の詳細のマップを作成しても良いのか。

事務局：事業所連絡会で対応できるのであれば、協議会で作成する福祉マップとは別に進めて頂ければと思う。

会長：他にご意見はないか。

委員：紙面上、これ以上情報を載せるのは難しいのではないか。

事務局：先程トイレの種類の違いについてご意見があったが、トイレの種類については、例えば、障がい者の方で、子どもを連れていた場合には、みんなのトイレの方が、障がい者トイレよりも使いやすいことも考えて、トイレの種類も分けた経緯がある。みんなのトイレなどの解説を加えていくということで、トイレの種類の違いを説明できるのではないか。

委員：障がい者トイレにはオムツを替える台、ベッドがないことがあるということか。

会長：そうである。障がい者トイレに赤ちゃん用のベットがついていることはあるが、普通のベットや長椅子はほとんどない。

委員：みんなのトイレは誰でも利用できるのか。そうであれば、障がい者ト

イレと一緒にしたらどうか。

会 長：みんなのトイレは障がい者トイレとは違う。車椅子用トイレにはオストメイトや子ども用の小さな便座など、何もついていない。車椅子用だけのトイレもまだある。

委 員：やはり、このままのトイレの種類で良いのではないか。

委 員：地図はこのままの状態を出すのか。道路など、細かい道が解らないと行きたい場所に行けないのではないか。もう少し細かな地図があった方が良い。線一本引くだけでも良い。

委 員：これ以上細かく道を作ると見つらくなる。

会 長：前回は、詳細な地図で見つらかった。

事務局：地図の道は、県道のみを残している。前回作成したものは、細かい地図になっていた。

委 員：バス停を入れたらどうか。

会 長：バス停は県道だけではない。コミュニティーバスは町道にもある。この福祉マップでの情報量は最大だと思う。

事務局：この地図である程度配置がわかるようなレイアウトにしている。より細かいものがあつた方が良いかもしれないが、見やすさ等を考えるとこの大きさでこの程度の配置が一番わかりやすいと思い、皆さんにお示しさせて頂いた。

委 員：今回の福祉マップは良くできていると思う。これを手にした方がどこまでこれを理解して、調べて自分の足でたどり着けるか、まで考えられると良いが、そこまで考えると大変なので、このマップで良い。トイレの種類が解らない人もいるのではないか。紙の大きさはA4サイズでちょうど良い。

委 員：裏面の自立支援協議会の文字が大きいので、もっと小さくて良いのではないか。また、自立支援協議会作成と入れた方が良い。入れないとなぜ協議会の名前が入っているのかわからない。

事務局：最終的に、図案などが決まれば、編集を協議会で、発行を町役場、社会福祉協議会にもご協力して頂けるなら、そのように整理させて頂きたい。自立支援協議会の文字を小さくすれば、スペースもできる。その下にトイレの説明が加えられ、よりわかりやすいものになるのかなと思う。

委 員：この協議会で協議して、これを町民にどこまで浸透するか考えると難しい。しかし、福祉マップのでき栄えとしてはすごく良い。

会 長：住所と電話番号が書いてあるので、調べられれば行くことは可能だと思う。

委員：事業所の開所の時間も記載されていて良い。

委員：開所の時間について、ほっとカフェつくしの時間は、11時から営業開始になっているので修正して欲しい。

会長：場所や、時間の修正は行っていく。また、カラー刷りにしてもらおう。

委員：けやきの森病院は、8時30分から17時までに変更して欲しい。外来は12時までだが、相談は17時までに行っている。

事務局：ご意見頂いた作成日を載せ、トイレの説明、時間帯等の修正、協議会作成と入れていきたい。福祉マップの地図を作る上でデザイナーにお願いしたので、著作の関係もあり、協力者という形で載せさせて頂ければと思う。ご了承頂ければと思う。他になければ、修正して配布していきたい。

会長：マップは修正箇所を直して完成で良いか。

委員：一同承認。

委員：広報には載せるのか。

事務局：何月号になるかわからないが、広報に載せる方向で考えている。

5. 今後の自立支援協議会について

事務局：今後の自立支援協議会について説明させて頂きたい。来年度の委員構成について、前回15名の枠の中から当事者1名追加するというお話しであったと思う。

昨年度まで、委員選出して頂いていた身体障害者福祉会が解散になり、その後卓球のサークルを行っているSK卓球協会に委員の選出についてお願いしたところ、協議会に出席して頂くことは可能というお返事を頂いたので、当事者の1名の委員の追加は、SK卓球協会から選出して頂こうと思っている。

来年度については、4月以降に各会の方に委員の選出依頼を出させて頂く。来年度第1回目の協議会が7月の初旬から中旬になると思うが、それに間に合うように、選出依頼を出させて頂く。

公募委員の募集について、5月号の広報で行う予定で、6月以降決定する。

6. その他

(1) 委員各位より振り返り

委員：2年間、皆さんと一緒に考え、色んな意見を出し合えて良かったです。ありがとうございました。

委員：1年間あっという間だったが、ほっとすぺーす、福祉マップができて

良かったと思う。自分の子に医療的ケアが必要なので、自立支援協議会で、今後そういう話ができたらと思います。先日、東京で、包括的に子どもたちを支えるという会議に出席しました。昔は福祉だけだったが、今は教育から全て地域で過ごす中で、医療的ケアが大きな問題になっている。重症心身障がいのお子さんがサービスを使えてない、医療的ケアが軽い障がいの方でも、サービスが使えていないという話が出ました。そこをどうしたら良いか考えた時に、やる気のある方だけで支えていく部分ではないと思いました。各地域の自立支援協議会の中で相談支援事業からあがってくることを課題にあげながら、話をしていくことが、今後の相談事業がしっかり機能していくのではないかと、という話も出ました。寒川町にとって、この自立支援協議会は重要な部分だと思うので、もう少し視野を広げながら、この町で障がいを持っている方々が、何の違和感もなく過ごせるようになると良いと思います。町の中では、サービス、資源が少ないということがあるので、関係者も含めて、話し合っていけると良いと思います。

委員：自立支援協議会に入れて頂き2年目で、視覚障害者福祉協会の当事者団体を立ち上げて4年目です。やっとうこういう会があるということが、会員にも少しずつ伝わってきています。当事者の方からヘルプの声がかかったりするようになってきたので、細々で良いので活動を続けていきながら、こういう場にも積極的に参加して、声を共有したりできるようにしていきたいです。これからもよろしくお願いします。

委員：1年間ありがとうございました。4月2日に世界自閉症啓発デーがあり、夕方色々な場所で、ブルーライトアップというものを行います。神奈川県はマリンタワー、江の島のシーキャンドル、八景島シーパラダイスにも協賛頂いています。機会があれば、見に行ってください。1年間勉強させて頂きました。引き続き委員をさせて頂くのでよろしくお願いします。

委員：町民の一人として参加しました。その時参加すること自体に悩みましたが、他の人の助言があり、対話することによって、自分自身物の捉え方、見方、価値観全てが少しずつ自分の中でも変わってきています。

2年間携わってきて、その前に2年間役員をやってきた方の課題が何も解決していない時に、3年目を迎えて何ができるのか、自分自身が思うこともありましたが、ある方に、点と線があって必ず結びついているので、自信を持って前向きに進んだらどうだろうと言われて納得しました。行政の方に素直な気持ちで、前向きに接することができまし

た。

自分は、リウマチ友の会に参加していて、医療関係が非常に問題になっています。委員の方から先程医療のお話が出ていましたが、共感しました。

自立支援協議会の在り方を、もう少し、行政の方ではなく、委員一人一人がどうあるべきか、前向きに考えながら継続して行って欲しいです。

相手の痛み、悲しみ、苦しみなど共に一緒に考えて寄り添っていくことを大事に、皆様も健康でいて下さい。ありがとうございました。

委員：2年間ありがとうございました。精神分野はあまり馴染みがないと思いますが、精神の分野で言えば、大きな法改正があり、医療機関だけでは限界だということで、地域と密接に関わっていこうということが法律でも定められてきています。寒川町は、小さい町ですが、委員の皆様がどのように活動しているのか、知ることができました。今後自立支援協議会の役割としては、地域住民を含めて障がい者が安心して生活できるようになるには、どういうことが必要なのか、深めていけると良いのかなと思います。ありがとうございました。

委員：民生委員として、ここ何年か参加させて頂きました。ありがとうございました。最初は自立支援協議会とは何か、というところから始まりました。色んな方とお会いして、話をして、自分たちがいかに障がいを持った当事者のことを全く知らなかったかわかりました。今まで自分たちが考えていた障がいのある方の支援と、当事者が求めている支援がこんなに違うのだと思いました。自立支援協議会に入り、当事者の意見を聞くことが、とても一般の人間としては大きかったです。地域の人も知らないと思うので、それを広めていくのが民生委員の役目なのかなと思います。本当にありがとうございました。

委員：一度もこういうことに携わったことがなかったので、自立支援協議会とは何かと思いながら参加させて頂きました。もう少し障がい者の痛みに関心できればと思いました。今はなるべく障がいを持っている人に向き合える姿勢を持っていきたいと思っています。ありがとうございました。

委員：グループホームの暮らしを支える立場で参加をさせて頂きました。自立支援とは、その人がその人らしく、暮らすための自己決定を支える本人中心のつながりを作るとい言葉によく置き換えられます。昨日、寒川のグループホームの利用者と、虐待のことでお話をさせて頂きました。当事者の声を聞くことが、権利擁護にもつながります。

障がいがあってもその人らしい暮らしにつながっていくと思います。寒川は顔の見える規模と関係の中で、ほっとすぺーすなどが発展していくことが、地域の中のつながりができていくことなのかなと思います。今後の自立支援協議会の活動に期待しています。ありがとうございました。

委員：最初から携わらせて頂いて、会議の中で、なかなか決まらないこともあったが、そうやって意見を出していかないと、こういった場ではなかなか良いものは作れないと思いました。

ほっとすぺーす等できて、少しずつ寒川町の障がいを持った方が暮らす良いきっかけになったかなと思います。事業所も増えてとても良い勉強になりました。地域で誰もが暮らせるために、再度確認させて頂きました。貴重な時間でした。ありがとうございます。

副会長：今年度1年間参加させて頂いて、形の残るものを作ろうということで、ほっとすぺーす、福祉マップを作成してきました。

湘南圏域の自立支援協議会に参加して、藤沢、茅ヶ崎、寒川ということになると、寒川町も障がい者に対する課題はたくさんあると感じました。その中でも、今後、防災、生活相談、就労関係、虐待のことについても、寒川町でも検討していけるように取り組めたら良いと思います。1年間ありがとうございました。

会長：2年間ありがとうございました。

何かを形にしたいという思いで臨みました。ほっとすぺーす、リーフレット、福祉マップも今後完成できるので良かったです。

湘南東部地域に重症心身障がい児者の病院と併設している施設がない。そういうことも提案していかないといけないと思いました。在宅での医療的ケアに限界があると感じていて、親も高齢になり、在宅での支援も必要だが、緊急時にすぐ利用できる重症心身障がい児者の施設が、町の中にもできるように、提案していくことも必要だと改めて思いました。

事務局：今の委員さんのお話をお聴きして、今後の自立支援協議会の在り方が課題になってくるかと思います。

委員の方もスタートラインが違っていたり、温度差もあったと思います。二期目まで部会を検討せずに、代表者会の形で、経過を取らせて頂きました。今後については、色々なテーマに基づいての検討が必要ではないかというご意見も頂いていますので、次年度以降、事務局としては、投げかけをさせて頂きながら、課題の検討について、自立支援協議会が目指すものを協議できればと思っていますので、よろしく

	<p>お願いします。ありがとうございました。</p> <p>事務局：2年間皆様に協議会にご尽力頂きましてありがとうございました。</p> <p>来年度の第1回協議会を7月頃予定しているので、よろしくお願ひします。</p> <p>7. 閉会</p> <p>副会長：閉会のあいさつ</p>		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>地域の課題</p> <p>ほっとすぺーすについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとすぺーすと知って利用されている方はまだいないようである。今後も周知活動が必要。広報は1回目の掲載から1年あけて欲しいと言われており、今回掲載はできなかった。 ・委員の方から、ほっとすぺーすから相談につながっているか、お話があった。 ・来年度より新しい事業所2か所に、ほっとすぺーすに登録して頂けるように、町から働きかけを行っている。登録になれば、ホームページにあげていく。 <p>福祉マップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面のサイズは、A4サイズでカラー刷りのものを作成する。 ・福祉マップに、作成日、自立支援協議会作成という文言、福祉マップの地図を依頼して作成をお願いしたデザイナー名を、協力者として載せていく。 ・トイレの種類についての説明文を追加する。 ・各事業所等の時間帯等の修正をしていく。 ・修正して、配布を行っていく。 ・広報に掲載し、町民に周知していく。 <p>今後の自立支援協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の委員の選出について、当事者団体1名を追加していく。SK卓球協会の方に委員をお願いする。 ・委員の皆様から、色々なテーマで課題の検討をしていきたいとい 		

	<p>うご意見を頂いた。また、今まで代表者会議という形で部会の検討はしていなかったが、委員の方が話し合いたい課題について、どう自立支援協議会で協議していけるか、委員の皆様のご意見を頂きながら、検討していく。</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ さむかわしょうがいふくしマップ ・ 第4回寒川町地域自立支援協議会議事録 ・ 当日配布資料 ほっとすぺーすの利用報告書 ・ 当日配布資料「かなさぼ」県下一斉相談会（成年後見制度）チラシ ・ 当日配布資料 世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間inかながわのチラシ
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>石澤 睦 川本 寿一</p> <p style="text-align: right;">(平成26年 6月10日確定)</p>